

与謝の海病院NEWS

平成24年5月
Vol.129

～ 患者が中心の、地域に開かれた病院 ～

京都府立与謝の海病院
〒629-2261
京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)
<http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumiho/>
●発行責任者：才本事務部長



ご挨拶

京都府立与謝の海病院

院長 関本 達之
せき もと たつ ゆき

平成24年度を迎えて一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度は電子カルテの更新作業、CT、MRIといった大型医療機器の更新工事といった環境の整備が整いました。また、京都府立与謝の海病院として改編されて50年という節目の年で、記念誌の作成、記念式典の開催といった事業も実施できました。

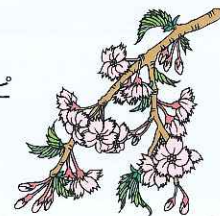
今年度はこうした事業の成果を足がかりに次のステップへと準備を進めるための年になります。導入しました新型のCT、MRIで撮影した精密な画像による人間ドックを実施する予定です。また、京都府立医科大学との一層強い連携を進めることでこの地域により安定した医療サービスを提供できるよう、平成25年度春を目安に当院の京都府立医科大学附属病院化に向けての準備を進める年となります。今まで以上に京都府北部の多くの皆様にも当院の医療資源を活用していただけるようなシステムの実現についても進めていきたいと考えております。

また、当院の広報誌についてはこれまでの「病院NEWS」と地域連携室の「かけはし」とを統合した形で新「病院NEWS」として装いを新たに地域の皆様にお届けすることになりました。今後とも当院の情報発信源の一つとして皆様に愛される広報誌づくりに努めていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



【第129号の内容】

- 1 ページ ● 院長あいさつ
- 2 ページ ● ナースのお仕事2 一塚原 奈美 看護師長一 ● 一ロレシビ
- 3 ページ ● 診察室 一消化器科一 ● 診療科 一臨床検査科一
- 4 ページ ● 地域連携室「かけはし」一人間ドックの充実に向けて一
- 5 ページ ● 地域連携室「かけはし」一緩和ケア研修会の実施について一
- 6 ページ ● 外来各科診察担当医表 ● 医師異動情報



ナースのお仕事 2

— 塚原 奈美 看護師長 —



今回はC2病棟看護師長をしている塚原師長をご紹介します。

【つかはら なみ：平成元年4月から当院勤務、C2師長は平成21年4月から】

質問1：看護師になろうと思ったきっかけは？

塚原：看護師さんという仕事への憧れと、人のために出来る職業に就きたいという思いがありこの仕事を選びました。

質問2：看護師になって感じた印象深いことは？

塚原：最初に就職したのは京都の病院でした。尊敬できる上司や良い同僚に恵まれ楽しく仕事が出来ました。その中でも医師・患者・家族・ケースワーカー・看護師との合同カンファレンスもあり、患者様の身になったチーム医療を実感しました。なかなか難しいですが、今でもその当時のカンファレンスが私のお手本です。

質問3：あなたのナースのお仕事を教えてください。

塚原：所属は外科・耳鼻咽喉科の急性期病棟であるC2病棟です。日々患者様の入れ替わりも早く、病棟ラウンドを実施し直接患者様の声を聞いたり状態把握に努め、患者様に満足していただける病棟作りに努めています。また記録委員として長く関わっています。平成17年から電子カルテが導入となり、看護診断のマスター作成、記録マニュアルの作成など記録委員スタッフと共に頑張ってきました。電子カルテ更新に伴いさらに看護記録の質の向上を目指して頑張っていきたいと思えます。

質問4：看護師として今、一番感じることは何ですか？（地域医療、医療問題）

塚原：与謝の海病院は地域の急性期病院としてなくてはならない病院です。しかし、地域の問題としては高齢者が多く、老々介護であったり、家族も仕事があるなど退院支援もなかなか進まない状況があります。高齢の患者様も自宅で安心して生活できる地域連携など後方支援の充実が望まれます。

本院でも今後は電子カルテを使つての医療連携の検討もあり、“町のお医者様”との医療連携が出来る事を期待しています。



C2ナースステーション



C2スタッフの朝礼1



C2スタッフの朝礼2



3月の行事食「雑祭り献立」

雑祭り 東日本大震災から早一年が過ぎ、今年も「雑祭り献立」を作りました。「♪あかりをつけましょ♪ほんほりに♪」ほんほりと共に日本に灯りをともす事ができたら良いなと思います。今年行事食の日限定で配膳車に飾りつけをしています。雑祭り飾りも患者様に喜んでいただきました。（栄養管理課）



雑祭り配膳食

募集

一緒に働きませんか？ 看護師・薬剤師・視能訓練士

当院では現在、非常勤嘱託(薬剤師・視能訓練士)、臨時職員(看護師)を募集しています。

条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】京都府立与謝の海病院 庶務課 ☎0772-46-3371 (代表)

年齢制限はございません。
給料は経験によります。



診察室

「ウイルス性肝炎」

消化器科 医長 城 正 泰



B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)感染は慢性肝炎、肝硬変、肝癌をもたらす可能性のある重要な疾患で、本邦で感染者はそれぞれ150万人とされています。

特にHCVは、肝炎を起こしやすく薬が効きにくいケースが少なくなく、肝硬変に進みますと年間の肝癌発生率が7%と言われており肝癌の原因でも70%と大きな割合を占めています。2011年11月、従来の治療(ペグインターフェロン+リバビリン)にプロテアーゼ阻害薬(テラプレビル)を用いる3剤併用療法が臨床の現場に登場しました。これにより、薬が効く率が従来の50%から70%台に伸び、ある条件

を満たせば、90%前後と良好な治療成績になることも分かってきました。さらに、今まで1年から1年半かかっていた治療が半年で済み、患者さんにとっては朗報と言えます。

ウイルス性肝疾患は症状が出にくく、血液検査でしか感染を確認することができません。京都府では肝炎対策として、各保健所や当院を含む46医療機関において無料のHBV、HCV検査を行えるようにしています。感染に気づいていない方も少なくなく、肝障害を指摘されたことがある方や過去に輸血を受けたことのある方は是非一度検査をお勧めします。

診療科紹介

—臨床検査科—

主任臨床検査技師 藤 田 幹 雄



医師が患者さんの病気を診断する際や病気の治療計画を立てたり治療効果を判断する際、種々の臨床検査のデータを参考に総合的に判断されます。今日では臨床検査なしでは診断や治療を論ずることはできなくなりました。病院ではこれら検査を専門的に扱う部署を臨床検査科といいます。実際は検体検査、生理機能検査、病理検査の3部門よりなっていて、それぞれ各専門の臨床検査技師が精密機器等を用いて検査を行っています。検体検査とは、血液・尿・分泌物等の検体を対象とした検査をいい、一般検査・血液検査・生化学検査・免疫血清検査・細菌検査・輸血関連検査等に分類されており、どれも病気を診断する際や治療効果を判断する際に欠かせない検査で、非常に多くの検査項目を扱っています。生理機能検査とは直接患者さん自身の協力のもとに行われる検査で、代表的なものとしては、心電図検査・肺機能検査・脳波検査・超音波検査・聴力検査などがあります。最後の病理検査とは、生体から細胞・組織を採取・摘出してそれを顕微鏡下に観察して病理学的に診断する検査で、特にがんの確定診断として欠か

せない検査です。臨床検査技師は採取・摘出された組織を病理診断するための標本作成に関与しています。また婦人科材料・尿・喀痰・体液液・各種臓器からの穿刺物で癌細胞の有無なども検査しています。

臨床検査科では生理機能検査以外では患者さんから採取された検体を検査していますので直接お話しする機会は少ない部門ですが、患者さんからのご注意があって初めて気づくことがあります。何か気になる事や疑問がございましたら技師に気軽に申し伝え下さい。



心電図室



地域連携室

人間ドックの充実に向けて

与謝の海病院 副院長 時 田 和 彦

はじめに

当院では、総合病院化した1994年より、人間ドックを実施しています。2011年に高性能のCTとMRIを導入しましたので、これらの能力を最大限活用すべく、人間ドックの新しいオプションを2012年度より開始します。

低線量胸部CT

現在、わが国では肺がんの頻度は増加傾向にあります。男女合わせると、肺がんは全てのがんの中で死亡原因の第一位です。

肺がんは、咳や血痰などの症状が出てから見つかったり、手遅れのことが多いがんです。住民検診や人間ドックで胸部写真を撮影され、症状がない段階のがんが発見されても、手術後に再発することがしばしばです。肺がんを完治させるには、もっと早い段階で発見する必要があるのです。

人間ドックで胸部CTを撮影すると、極めて早期の肺がんを発見できることがあります。ここで問題は、CT撮影は通常のX線撮影に比べ、放射線量が多いことです。あまり頻回にCTを受けると、検査によってがんが発生しないかが心配になります。

そこで当院では、320列CTという、高性能のCTを駆使して、通常の数分の一の放射線量で胸部CT撮影を行うことにしました。これにより中年以降の、特に喫煙者の方の肺がんを早期に発見したいと期待しています。

脳ドック

脳卒中と呼ばれる病気の一つに、くも膜下出血があります。この病気は、脳梗塞や脳出血に比べると、比較的若い人にも発症することがあります。この病気の主な原因は、動脈瘤と呼ばれる、血管のこぶです。つまり脳の血管にこぶがある場合は、こぶの大きさや形などから、将来のくも膜下出血の危険性がわかるのです。

そこで当院では、3T-MRIという、高性能のMRIを駆使して、脳の血管を精密に写し出すことにしました。もしも出血の危険の高いこぶが発見された場合は、カテーテル治療や手術により、くも膜下出血を未然に防ぐことが可能になります。

おわりに

これら二つの検査は、機械の上でじっとしているだけで撮影できる、比較的楽な検査です。これらオプション検査を含めて、多くの地域住民の方々に当院の人間ドックを受けて頂き、病気の早期発見につなげて欲しいと思います。

かけはし

緩和ケア研修会の実施について

与謝の海病院 看護師長 砂原 洋子

2007年のがん対策推進基本計画で「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」が目標として掲げられました。それに伴い3月3日・4日の2日間、がん診療に携わる医師・看護師等に対する緩和ケア研修会を行いました。

痛みをはじめとした、がんによる苦痛に対する緩和ケアの知識、技能、態度を習得し、実践できることを目的とした研修です。緩和ケアは「病気の時期」や「治療の場所」を問わずに提供され、「苦痛（つらさ）」に焦点が当てられます。「何を大切にしたいか」は患者様・ご家族によって異なります。いつでも、どこでも、切れ目のない質の高い緩和ケアを受けられることが大切です。

今回参加していただいたのは、診療所・病院の医師、診療所・病院・訪問看護ステーションの看護師でした。患者・医療者・観察者役を体験し、自己の関わりを客観的に振り返る研修内容やそれぞれの立場からの意見交換もでき有意義な研修となりました。今後も病院から在宅に戻られても継続した緩和ケアの提供ができることを目指し、努力していききたいと思います。



外来各科診察担当医表

(平成24年4月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合内科	時田 和彦 副院長	丹羽 文俊 医 長	大月 亮三 診療長	本庄 尚謙 医 長	(1,3,5週)城 正泰 医 長 (2週)玄 泰行 副医 長 (4週)土肥 統 副医 長	
12	呼吸器科	石野 秀岳 医 長	大月 亮三 診療長		石野 秀岳 医 長	大月 亮三 診療長	
	消化器科			城 正泰 医 長 (肝臓)			
13		玄 泰行 副医 長	土肥 統 副医 長		井上 健 副医 長	加藤 萌由 医 師	
14	循環器科	本庄 尚謙 医 長	川人 浩之 副医 長	高田 博輝 副医 長	木下 英吾 副医 長	岸田 聡 副医 長	
15	神経内科	丹羽 文俊 医 長			丹羽 文俊 医 長	大原 亮 医 師	
26	精神科神経科	小野 淳子 医 師	上村 宏 医 長	上村 宏 医 長	上村 宏 医 長	小野 淳子 医 師	
23	小児科	西村 陽 副院長	栗原 康通 医 長	吉田 秀樹 副医 長	西村 陽 副院長	小川 弘 医 長	
18	外科	1診	中村憲司 副診療部長 (乳腺・新患)	竹本 健一 医 師	當麻 敦史 医 長	中村 憲司 診療長	石井 博道 副医 長
		2診	荻野 真平 医 師		池本 公紀 医 師		
22	整形外科	(1,5週)外村 仁 医 長 (2週)森崎 真介 副医 長 (3週)琴浦 義浩 副医 長 (4週)成田 涉 副医 長	成田 涉 副医 長	森崎 真介 副医 長	外村 仁 医 長	琴浦 義浩 副医 長	
17	脳神経外科		関本 達之 院 長	(外科3診)伊藤剛 医 師	担当医	法里 高 医 師	
19	眼科	1診	水野連太郎 副医 長	三重野洋喜 医 師	小嶋健太郎 医 長	小嶋健太郎 医 長	水野連太郎 副医 長
		2診	丹羽 匡世 副医 長		丹羽 匡世 副医 長	三重野洋喜 医 師	
20	産婦人科	辻 哲朗 医 師	小芝 明美 副医 長	小柴 寿人 医 長	(1,3,5週)小柴寿人 医 長 (2,4週)小芝明美 医 師 午後:担当医	野口 敏史 副院長	
24	泌尿器科	粥川 成優 医 師	問山 大輔 医 長	問山 大輔 医 長	粥川 成優 医 師	問山 大輔 医 長	
25	耳鼻咽喉科	1診	長谷川達央 医 長	長谷川達央 医 長	椋代 茂之 医 師	長谷川達央 医 長	齋藤 敦志 副医 長
		2診		齋藤 敦志 副医 長		齋藤 敦志 副医 長	
21	ペインクリニック		(2,4週)細川康二 医 長				
16	皮膚科	今井 慎 医 長		今井 慎 医 長	今井 慎 医 長	今井 慎 医 長	

●受付時間/8:00~11:00 ●閉診日/土・日・祝日(急患は、時間外でも診察)

医師異動情報

診療科名	転出(平成24年3月31日)	転入(平成24年4月1日)	診療科名	転出(平成24年3月31日)	転入(平成24年4月1日)
消化器科	医 師 ひろせ 亮平	—	外 科	医 師 工藤 道弘	医 師 竹本 健一
循環器科	医 長 いそどのこうじ 五十殿弘二	副医 長 かわひと 浩之		医 師 こばやし 卓馬	医 師 おぎの 真平
神経内科	医 長 おおはら 亮	医 長 にわ 文俊		—	医 師 いけもと 公紀
精神科・神経科	医 師 ふじさわ なすか 藤澤なすか	医 師 おの 淳子	眼 科	医 師 やまわき 敬博	副医 長 にわ 匡世
小児科	副医 長 みやち 充	副医 長 よしだ 秀樹	泌尿器科	医 師 まつがすみ とおる 松ヶ角 透	医 師 かゆかわ なるひろ
外 科	副診療部長 いとう つよし 伊藤 剛	—	麻 酔 科	医 師 はやかわ ゆか 早川 由夏	医 師 やすもと かずまさ 安本 和正

【発行】京都府立与謝の海病院 【編集】与謝の海病院広報委員会 【問合せ先】庶務課
 TEL/FAX 0772-46-3371 (代表) ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/yosanournihp/>
 ホームページから“お見舞メール”サービスがご利用いただけます。